

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月12日

事業所名: 発達支援センターやかけ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	活動の場と個別療育の場をパーティションで仕切るなど工夫している。	整理整頓を行い、スペースを有効に活用する。
	2 職員配置数は適切であるか	5	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	パーティションを活用し、刺激の少ない工夫を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	2	毎日清掃を行っている。	おしめ交換ができる場所を設ける。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	毎日朝礼で、子どもの様子や、平立て等話し合ったり、ケース会議を行う。	引き続き、療育後の振り返りも引き、支援を工夫する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	年に一度アンケートを行い、意見に対して、改善するようにしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	今年度から公開する。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	他事業所の職員のシャッフルを行い、評価しながら、業務改善をしている。	引き続き、職員のシャッフルを行うと共に、責任者のシャッフルも行う。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	外部講師を招いての研修や法人研修など、様々な研修に参加している。	引き続き、研修報告をその都度行う。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	支援会議、保護者との懇談やニーズシートをもとに作成している。	引き続き、在籍している保育園、幼稚園に訪問し、集団の中での子どもの姿も把握する。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	ニーズシートなどを活用し、適切なアセスメントができるように取り組んでいる。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が	5	0		ガイドラインの内容を職員間でも理解し、支援のねらいを共通認識していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	支援前に支援計画を確認している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	職員間で話し合い、プログラムや支援内容を考えている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	年間通して様々な活動を経験できるようにしている。個の発達や興味に合わせた活動を行っている。	外部研修で得た知識を活動に取り入れたり、子どもの様子に合わせて活動を計画する。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	書字や手先の活動等、個別での時間を設け、集中して取り組む姿勢作りをしている。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	毎回支援開始前に、活動の流れや役割を話し合ったり、子どもへの支援の確認を行う。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	気付いたことを話し合い、共通理解に努めている。	改めたい支援だけでなく、良かった点もしっかり話して今後の支援に生かす。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	日々のケースに記録したり、保護者とは連絡帳で共有を図る。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5	0	責任者が参加し、会議前には、子どもの状況を職員間で話し合うようにしている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	何かあればすぐ連絡し合えるように連携を深めている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	関係事業所の見学を行い、連携を行い、支援に生かしている。	見学後も、定期的に子どもの様子を確認する。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	病院のリハビリを見学し、連携が図れるようにしている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	関係機関に出向き、集団での子どもの様子聞き、情報共有、相互理解を深めている。	今後も情報共有、相互理解を深める。関係機関にも事業所見学を勧める。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	各市町村の支援会議に参加し、情報提供を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0		引き続き、同施設内の事業所だけでなく、他の事業所の見学も行う。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	保育所、幼稚園の職員に見学に来てもらい、療育を知る機会を設けている。	積極的に見学してもらえるように、保育所、幼稚園に働きかける。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	なるべく参加し、各機関との連携が図れるようにしている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	送迎時にその日の様子を伝えたり、連絡帳でやりとりを行っている。	引き続き、送迎時に、写真や動画を見せるなどして、様子が分かりやすい工夫を行う。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0	同施設で開催するペアレント・トレーニングへの参加を促している。	参加後の家庭での様子を継続的に聞き、共有する。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	契約時に行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0		ガイドラインの内容を職員間でも理解し、支援計画作成に努める。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	気軽に相談できるよう、「なんでもノート」を配布し、相談がすぐできるようにしている。	相談内容を、職員で把握し、継続的に保護者のケアを行う。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	年2回、座談会を行ったり、ワークショップを企画し、保護者同士の交流を図っている。	
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	個別に面談をするなど、早急に対応できるように心掛けている。	苦情、相談があった時は、職員で把握し、保護者の不安が軽減できるように努める。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	行事前には、スケジュールなど、視覚的な支援のプリントを配布している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		今後も厳重に取り扱っていく。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	口頭だけでなく、メモに書いて渡すなどする。漢字にルビを付けて分かりやすくする。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	5	0	餅つき、しめ縄作りなど、地域に出向いて交流している。	地域の人を招いて、事業所を知ってもらう機会を設ける。	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0		各マニュアルの周知徹底を定期的に行う。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	定期的に避難訓練を実施している。	様々な想定で、訓練を行う。子どもの意識も高めるための工夫をする。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	プロフィールに記入してもらう。発作への対応は、個のマニュアルを作成している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	エピペン、ダイアップを持参してもらっている。	使用する食材は、必ず保護者に確認をもらい、同意を得て使用する。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	気付いた時に、報告をし、対策もしている。	必ず、朝終礼で報告する時間を設ける。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	1	身体拘束は行わない。	身体拘束マニュアルを職員間で再度確認する。